

石本正の作品にみる春夏秋冬

《石本正記念展示室》

1	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
2	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
3	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
4	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
5	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
6	石本正	罌粟	1980（昭和55）年	素描
7	石本正	芥子	2005（平成17）年	本画
8	石本正	芥子	2012（平成24）年	本画
9	石本正	ジェイドバイン	2012（平成24）年	本画
10	石本正	しだれ桃	2012（平成24）年	本画
11	石本正	天王牡丹	2007（平成19）年	本画
12	石本正	天王牡丹（斜陽）	2011（平成23）年	本画
13	石本正	池（植物園）	2012（平成24）年	本画
14	石本正	鶏頭	2004（平成16）年	本画
15	石本正	思いは遠く	2006（平成18）年	本画
16	石本正	鉄線	2009（平成21）年	本画
17	石本正	野薊	2009（平成21）年	本画
18	石本正	野薊	2009（平成21）年	本画
19	石本正	沖繩冬瓜	2009（平成21）年	加筆 本画



12



19



24



40

【特集】一絵にひそむ季節感—こだわりの着物模様

20	石本正	舞妓三姉妹末娘	2005（平成17）年	本画
21	石本正	舞妓三姉妹上娘	2005（平成17）年	本画
22	石本正	舞妓三姉妹中娘	2005（平成17）年	本画
23	石本正	舞妓姉妹	1986（昭和61）年	本画
24	石本正	富美代	2002（平成14）年	本画
25	石本正	舞妓立像	1974（昭和49）年 制作 2007（平成19）年 加筆	本画
26	石本正	薫	1995（平成7）年	本画
27	石本正	偲ぶ思い	2008（平成20）年	本画
28	石本正	香花	2002（平成14）年	本画
29	石本正	三人の女	1980（昭和55）年	本画
30	石本正	干し柿	制昨年不詳	素描
31	石本正	松茸	制昨年不詳	素描
32	石本正	栗	2009（平成21）年	本画
33	石本正	柘榴	2012（平成24）年	本画
34	石本正	鶏頭	2000（平成12）年	本画
35	石本正	秋	2014（平成26）年	本画
36	石本正	曼珠沙華	2012（平成24）年	本画
37	石本正	鶏頭	2010（平成22）年	本画
38	石本正	菊	2011（平成23）年	本画
39	石本正	鶏頭	2013（平成25）年	本画
40	石本正	雪景色	2012（平成24）年	本画
41	石本正	寒牡丹	2013（平成25）年	本画
42	石本正	初冬	2011（平成23）年	本画
43	石本正	椿	2012（平成24）年	本画

44	吉村 和起	ラダックから「春」	2012（平成 24）年	本画
45	奥村 美佳	おとずれ	2001（平成 13）年	本画
46	西久松 吉雄	常照皇寺の櫻	2005（平成 17）年	本画
47	岡崎 國夫	春宵	制昨年不詳	本画
48	西久松 吉雄	京丹波・樹	2014（平成 26）年	本画
49	池庄司 淳	風に揺れる	2006（平成 18）年	本画
50	奥村 美佳	春の譜	2001（平成 13）年	本画
51	岡崎 國夫	花と猫	1983（昭和 58）年	本画
52	渡辺 武蔵	偲草	2006（平成 18）年	本画
53	伊藤 はるみ	藤の頃	1987（昭和 62）年	本画
54	石原 正人	Moon Night Dream	1995（平成 7）年	本画
55	多留 裕二	映ろい	2006（平成 18）年	本画
56	岸本 裕子	夏	1978（昭和 53）年	本画
57	岸本 裕子	芥子	2007（平成 19）年	本画
58	近藤 弘明	彼岸幻夢	1975（昭和 50）年	本画



53



50



58



48

石本正 「美しいものを喰える人」

「どんなに美しいものでも、喰えないものは世の中の役にたたない」と言う人がいる。本当だろうか。美しいものは本当に喰えないのだろうか。「ここは景色がいいけれども不便だから」とか「いくらいい景色でも毎日みていたら飽きてしまう」とか言う人がいるが、ぼくはそうは思わない。「美しいものは喰える」と思う。

たとえば朝起きて、そよぐ風を肌を受け、鳥の鳴声に耳を澄ませ、動く雲を目で追って、ああ美しい朝だと感じる事ができたなら、それはもう美味しいものを食べたのと同じ満足がえられると思う。ただ、こうした季節や気象の変化をたえず敏感に感じとってそこに新鮮な美をみいだすことのできる人と、そうしたことのまったくできない人との二種類があることは確かだ。

「美しいものを喰える」人とは、そうした自然の移り変りを敏感に読みとり観察できる人である。

「画家のことば」 藝術新潮 1973年5月号より